

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【公表番号】特表2009-502327(P2009-502327A)
 【公表日】平成21年1月29日(2009.1.29)
 【年通号数】公開・登録公報2009-004
 【出願番号】特願2008-523989(P2008-523989)
 【国際特許分類】

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 27/00 U
 A 6 1 L 27/00 W
 A 6 1 L 27/00 Y

【手続補正書】
 【提出日】平成21年7月16日(2009.7.16)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

実質的に長方形の移植可能な綿撒系材料を含む医療器具であって、前記長方形の綿撒系材料はその対辺に沿って気孔率（パーセント）が 90 より大きい多孔質の生体吸収性不織ウェブに解放可能に取り付けられており、前記多孔質ウェブは、混ざり合って多孔質ウェブを形成している溶融成形連続フィラメントを含み、前記フィラメントが複数の接触点で互いに自己凝集しており、前記フィラメントが、少なくとも 1 種の無定形ポリマー成分と共有結合した又はブレンドされた、少なくとも 1 種の半結晶ポリマー成分を含み、前記フィラメントが、結晶状態のときに部分的乃至完全なポリマー成分相不混和性を有し、前記多孔質ウェブが、外科用ステープル装置に前記綿撒系材料を保持する大きさにされる、医療器具。

【請求項 2】

前記ウェブの気孔率（パーセント）が 91 より大きい、請求項 1 に記載の医療器具。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 種の半結晶ポリマー成分が、少なくとも 1 種の無定形ポリマー成分と共有結合している、請求項 1 に記載の医療器具。

【請求項 4】

前記成分がブロックコポリマーを含む、請求項 3 に記載の医療器具。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 種の半結晶ポリマー成分が、前記少なくとも 1 種の無定形ポリマー成分とブレンドされている、請求項 1 に記載の医療器具。

【請求項 6】

前記成分の少なくとも 1 つがブロックコポリマーである、請求項 5 に記載の医療器具。

【請求項 7】

少なくとも 1 種の半結晶ポリマー成分の融点が 80 より高い、請求項 1 に記載の医療器具。

【請求項 8】

前記綿撒系材料が生体吸収性材料である、請求項 1 に記載の医療器具。

【請求項 9】

前記生体吸収性材料が、混ざり合って多孔質ウェブを形成している溶融成形連続フィラメントの形状であって、前記フィラメントが複数の接触点で互いに自己凝集しており、前記フィラメントが、少なくとも１種の無定形ポリマー成分と共有結合した又はブレンドされた、少なくとも１種の半結晶ポリマー成分を含み、前記フィラメントが、結晶状態のときに部分的乃至完全なポリマー成分相不混和性を有する、請求項 8 に記載の医療器具。

【請求項 10】

前記綿撒系材料に少なくとも１つの孔をさらに含む、請求項 1 に記載の医療器具。